

## GEMAP 地域医療連携運営 WG 第 1 回会議 議事録

1. 日時： 2011 年 11 月 25 日（金） 13:00～14:30
2. 場所： 沖電気工業株式会社 本社 3 階 応接室 3  
〒105-8460 東京都港区虎ノ門 1-7-12
3. 出席者： 正副委員長を含め、9 名全員が出席した。

役職	氏名	出欠
委員長	三田村 一治	出席
副委員長	小川 和大	出席
委員	北原 祐二	出席
委員	黒澤 成行	出席
委員	上甲 桂子	出席
委員	白木 元朗	出席
委員	田中 淳一	出席
委員	谷口 博	出席
委員	百名 朝寛	出席

#### 4. 資料

- 資料 1 議事次第
- 資料 2 委員名簿
- 資料 3 地域医療連携運営ワーキンググループの設置（第 2 回理事会での資料）
- 資料 4 活動の基本的な流れ
- 資料 5 救急医療情報システム
- 資料 6 地域に即した医療基盤構築の実現に向けて

#### 5. 議事

当初、GEMAP の丸山事務局長が議長を務めた。

##### (1) 自己紹介

委員全員が自己紹介を行った。

##### (2) 本ワーキンググループ設置の趣旨説明

第 2 回理事会に提出された資料 3 に基づき、小川委員が本 WG 設置の趣旨について説明した。

##### (3) 委員長および副委員長の選任

正副委員長の選任に関する審議の結果、全会一致で三田村一治委員を委員長に、小川和大委員を副委員長に選任した。

この後、三田村委員長が議長を務めた。

##### (4) 今後の活動方針

三田村委員長が、資料 4 に基づき、本 WG の今後の活動方針について説明した。今年度じゅうに何らかの報告書を作成するために進めていく今後の手順を以下に示す。

- ① まず、現状の救急医療における一般的な（特定の都道府県に依存しない）課題を抽出する。
- ② その課題を、救急隊が患者を病院に搬送する運用フローに応じて、具体的に、たとえば、大都市圏とそうでない地域というふうにパターン分けする。
- ③ それぞれのパターンに応じて、課題を解決するために GEMITS をどのように適用して、システムを改善していくかについて検討する。
- ④ すでに救急医療情報システムが多くの自治体に導入され運用されているため、GEMITS をこれにどう融合させていくかについて現実的な解を求めて検討していく。

⑤ さらに、その融合案の適用先について検討していく。

今年度じゅうにこの①～④または①～⑤のワンサイクルを実施して何からの結論を導き出し、来年度以降さらにそれを何サイクルか回していきたいとの説明があった。

#### (5) 現システム（救急医療情報システム・GEMITS）の概要

三田村委員長が、資料5に基づき、現在30県で運用している救急医療情報システムについて説明した。救急システムは、県民に対する医療機関情報提供と救急搬送時の応需情報提供の2つの機能を有する。後者で重要な応需情報とは、医療機関で救急患者を受け入れることができるかどうか（○か×）を示すものである。通常は医療機関において1日に2回入力して、救急隊員はその情報を参考にして搬送すべき医療機関に連絡をとって受入れ可能かどうかを問合せ。なお、その交渉が4回失敗すると一斉通報する。3年前に医療資源が多い東京で、応需情報が「○」であるにもかかわらず病院で受入れを拒否されて妊婦が死亡した、「たらい回し」事件が発生したことで、社会的な問題となった。

「乱暴な分け方をすると、GEMITSは病院側が構築したシステムであるが、このシステムは誰が構築したシステムか？」の質問に対して、「両方を考慮したものであるが、どちらかというとなら救急隊が見るためのシステムと言えるかもしれない。」との回答があった。

東京や大阪のように、奨励金を設ける等して指導を行うことでかなり応需情報が信頼できるものとなった医療機関もあるが、正しく入力しなくても罰則はなく、必ずしも信頼できない所もある。ただ、応需情報が信頼できるものになるかは、最終的には救急医療に対する病院側のスタンスに依存するのではないか、という意見が出た。

次に、小川副委員長が、資料6に基づき、岐阜県で実証実験を行っているGEMITSについて説明した。医者がタグを身につけるだけでどこにいるかを自動的に把握することのできる病院情報収集システムをはじめ、いくつかのシステムからなるが、現在MEDICAカードに関わるシステムをベースとして実証実験中である。「MEDICAカードで誤作動等のトラブルがあったか。」の質問に対して、「カードに書き込めない等の問題が起こったことがあるが、医療上の重大なトラブルは発生していない。」との回答があった。

再び今後の活動方針の審議に戻り、救急医療に関して現在各委員が（GEMITSとかには一切関係なく）抱えている課題を次回会合までに抽出することとした。

納期：12月16日(金)

提出先：WG事務局 (hyakunat@nttdata.co.jp; hasegawa867@oki.com)

#### (6) 自治体関係者へのヒアリング

自治体関係者へのヒアリングを行うことが必要だとの認識で一致したが、その対象とする自治体について、三田村委員長が小倉先生とも相談し、また、システムが5～6年ごとに更改されることから、その更改時期も考慮した上で選定することになった。

#### (7) その他

委員は企業に勤める方であり、現状システムの課題解決に向け、GEMITSでの自社の取り組み方（どのように関わっていききたいか）、また、社としてGEMITSにどのようなことを期待するかということ各社で考え、それについて必要に応じて提案して戴くことになった。

### 6. 今後の会議開催

今後は月に1度は会議を開催し、その他必要に応じてメールで審議を行う。次回会議は以下の要領で開催する。

日時：2011年12月19日(月) 16:00～

場所：OKI 本社3階 応接室3

以上を以てすべての議案の審議が終了し、閉会した。

2011年11月25日